



Vancouver   
CoastalHealth

# 2022/23 年版 VCH インパクトレポート (Impact Report)

# VCH について

バンクーバー・コースタル・ヘルス (Vancouver Coastal Health, VCH) は、管轄域内のHeiltsuk、Kitsoo-Xai'xais、Lil'wat、Musqueam、N'Quatqua、Nuxalk、Samahquam、shíshálh、Skatin、Squamish、Tla'amin、Tsleil-Waututh、Wuikinuxv およびXa'xtsaの各伝統領土に住むファーストネイション (First Nations)、メイティ (Métis)、イヌイト (Inuit) を含む100万人を上回る方々に優れたケアを提供することに尽力しています。VCHは、ブリティッシュコロンビア州の患者さんに専門的なケアを提供する、医療革新、研究、優れた学術の拠点です。



# このレポートについて

2022/23年版VCHインパクトレポート (Impact Report) は、VCH組織のプログラムやイニシアチブを紹介し、私たちの堅固な価値感を強調し、優れたケアを提供するという私たちのコミットメントを示すものです。

このレポートは、「先住民の文化的安全性」、「公平性、多様性、包括性」、「反人種差別」、「プラネタリーヘルス」というVCHの4つの柱 (VCHのピラー) と、私たちの価値観である「すべての人にケアを提供する」、「常に学ぶ」、「より良い結果を出す努力をする」に分けられています。



# VCH理事長からのメッセージ

州内125万人の住民にサービスを提供する29,000人以上のスタッフ、医療スタッフにとって、この3年間の影響は、ほとんどの人がマスクを外すよりもはるかに長引くことでしょう。さらに、オピオイド危機や、増加の一途をたどるメンタルヘルスや薬物使用の課題を抱える人々への継続的なサポートの必要性、気候変動の警鐘である山火事や吹雪、大気の大川、ヒートドームなどの追い打ちで困難に直面しながらも、全職員は超人的な決意を示してきました。「前例のない」、「予想外」は、この1年の出来事と、スタッフが見せたリーダーシップやヒロイズムを表す言葉といえます。スタッフは本当によくやり遂げてくれました。私たちはそれに感銘を受け感謝しています。

今年のインパクトレポートでは、この活動のハイライトを取り上げていますが、これらはすべて、VCHの拡大戦略的枠組みを支えるものです。新しい「VCHのピラー」は、今後の取り組みを構築していくための強固な基盤であり、VCHがサービスを提供する多様な人たちの健康状態を最適にするために不可欠な、私たちの強いコミットメントを表しています。

- **先住民の文化的安全性**：先住民族に文化的に安全なケアを毎日、あらゆる方法で提供する
- **公平性、多様性、包括性**：ありのままにVCHへの帰属意識を高める
- **反人種差別**：人種や民族性によって人々に影響を与える態度、慣習、プロセスを取り除くコミュニティを創る
- **プラネタリーヘルス**：人々が健全な生態系を創造、回復、管理、保護する意欲を起こさせる

このレポートに掲載されているストーリーは、異常な期間を過ごした驚異的な人々の姿を描いています。程度の差こそあれ、私たちが質の高いヘルスケアを継続的に提供できるのは、このパートナーシップのおかげであると言っても過言ではないでしょう。理事会を代表して、保健省の継続的な支援に感謝するとともに、プロビデンス・ヘルス・ケア (Providence Health Care) をはじめとする、目標を共有するパートナーにお礼申し上げます。「思いやりと寛大」で結ばれたパートナーシップに、感謝しております。私は将

来に希望を持っています。住民も地域社会も同じ境遇にあるため、皆がお互いのためにもっと頑張ろう、お互いの安全と健康を守ろうという共通の願いがあるからです。全理事とともに、バンクーバー・コースタル・ヘルスの方々のお役に立てることを光栄に思っております。

**Penny Ballem 医師**

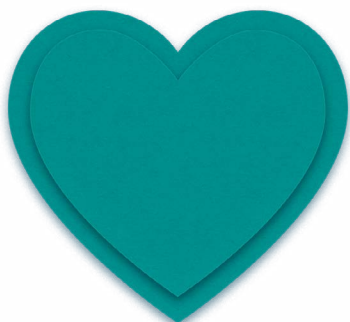
理事長



# VCH代表/CEOからのメ ッセージ

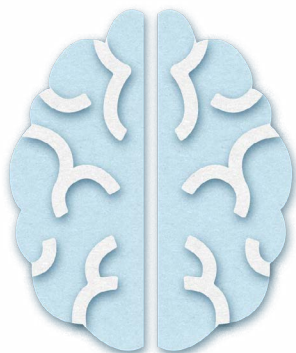


# 私たちのコアバリュー



## すべての人にケアを提供する

患者やその家族、同僚、そして私たち自身を思いやることが、ケアの中心にあると信じています。



## 常に学ぶ

常に好奇心を持ち続け、革新的なアイデアやヘルスケアを改善する方法を積極的に取り入れていくべきであると思っています。



## より良い結果を出す努力をする

医療のあらゆる部門でより良い結果を達成して患者の健康状態を改善し、医療の向上に繋げるべきであると思っています。

# VCHのピラー

VCHは、すべての人に優れたケアを体験してもらおうというコミットメントの一環として、文化的に安全で、文化を尊重し、適切で、健康の公平性を高めるようなプログラムやサービスを改善する方法を継続的に模索しています。これを念頭に、「すべての人にケアを提供する」、「常に学ぶ」、「より良い結果を出す努力をする」というコアバリューに基いた、4つのVCHのピラーを導入しました。

**私たちのピラーは、安全で質の高いケアを提供するという私たちのコミットメントを表す指針となっています。**



## 先住民の文化的安全性

先住民族に文化的に安全なケアを毎日、あらゆる方法で提供します。



## 公平性、多様性、包括性

ありのままのVCHへの帰属意識を高めます。



## 反人種差別

人種や民族性によって人々に影響を与える態度、慣習、プロセスを取り除くコミュニティを創ります。



## プラネタリーヘルス

人々が健全な生態系を創造、回復、管理、保護する意欲を起こさせます。



# 先住民の文化的安全性

## 文化的に安全なケアへのアクセスの増加

VCHは、ブリティッシュコロンビア州の先住民民族 (Indigenous Peoples) が経験している健康的、社会的格差をなくすために、文化的に安全なケアへのアクセスを改善することに尽力しています。

VCHでは今年、バンクーバー・ジェネラル・ホスピタル (Vancouver General Hospital) と50箇所の優先クリニックで急性期医療や入院サービスを受けに来る全患者を対象に、登録手続きの際に先住民であることを自認したいかどうかを尋ねるイニシアチブを開始しました。VCHの新しいCST Cerner電子カルテシステムを使用することで、プライバシーに配慮した、自由意思で行える、包括的なプロセスで、自認に関する追跡が簡単にできるようになりました。この情報がカルテに記載されるようになったことで、私たちのチームは、個別のケアプランの一環として、文化的に安全なケアとサポートを提供できるようになりました。

カルテに先住民であるという自認情報を追加し、スタッフが文化的安全性に関するトレーニングを受けたことで、先住民の健康ニーズに対する認識が高まりました。VCHの先住民患者体験チーム (Indigenous Patient Experience team) への紹介件数は、2022年末の数か月で2倍以上に増え、文化的な支援のための高齢者への紹介数も増えています。

先住民患者体験チームは拡大を続けており、このチームの活動により苦情件数の減少につながっていることが初期データですすでに示されています。



**先住民患者ナビゲーター (Indigenous Patient Navigators, IPN) の採用を増やし、常勤職として1名のエルダーズ・イン・レジデンスコーディネーター (Elders in Residence coordinator) を導入しました。**



**IPNは以前から都市部の病院で患者を支援してきましたが、現在では、ベラベラ (Bella Bella, BC)、ベラクーラ (Bella Coola, BC)、シーシェルト (Sechelt, BC) /shíshálh, qathet地域へもサービスを拡大しています。**



**都市部で働くIPNは勤務時間を延長し、週末も対応しています。**



**IPNは、2021年にVCHに加わった2名の先住民患者クオリティリエゾン (Indigenous Patient Quality Liaisons) の業務も行い、文化的に安全、公平、かつ修復的な方法で先住民患者の苦情への対応を支援します。**

# 公平性、多様性、包括性

## 自認と職場体験調査

性自認、人種・民族、性的自認、先住民自認、障害など、あらゆる面の多様性を認識することは、優れたケアを提供し、素晴らしい職場を作るために不可欠です。VCH組織全体で公平性、多様性、包括性 (equity, diversity and inclusion, EDI) を推進するというコミットメントをもって、EDIチームはスタッフや医療スタッフと協力して、VCHのポリシー、慣行、プログラム、サービスにEDIの原則を組み込んでいます。

このEDIチームは、主に次の4つの目標を重視しています。

- 1. 働く人は地域社会を広く反映した構成にする。**
- 2. 制度上の障壁を特定し、対処する。**
- 3. 包括的かつ敬意を払った方法で働く技能を持った、有能で多様な人材を惹きつけ、定着させる。**
- 4. スタッフ、医療スタッフ、利用者、地域社会の多様なニーズに応えるポリシー、計画、プログラム、実践、サービスを創造する。**

働く人の現状とニーズを理解し、職場を改善する機会を特定することは、重要なステップです。VCHは2022年に、全スタッフと医療スタッフを対象に、EDIに焦点を置いた匿名の自己申告・職場体験調査を開始しました。

先住民保健チーム (Indigenous Health team) と緊密に連携し、トラウマに配慮した、文化的に安全なプロセスで個人情報収集し、データ収集により起こる可能性のある害 (ハーム) を軽減しました。これは、**反人種差別データ法 (anti-racism data act)** に歩調を合わせるものです。

この調査から得られた知見は、文化的に安全で、VCHでケアを提供するために働く人全員の多様性を評価する、包括的な職場環境を提供するための活動に役立てられます。

# 反人種差別

## 人種差別に反対する組織づくり

先住民、黒人、有色人種に対する人種差別や偏見は、医療制度の中で根強く残っており、深刻な被害につながっています。人種差別や差別のない医療サービスを受ける権利はすべての患者、利用者にあります。VCHは、意味のある制度的な変革の必要性を認識し、人権と健康の公平性に焦点を当てた持続可能な改善に取り組んでいます。

VCHでは2022年に、先住民の文化的安全性を統合し、より公平、多様、包括的なケア提供の促進活動を強化するために、反人種差別プログラムを開始しました。

### プログラムの目標

- 1. 人種差別があることを認め、それに対処、非難し、患者、利用者、住民が人種差別や差別のない安全で質の高いヘルスケアを受けられる環境を作る。**
- 2. スタッフや医療スタッフが、上層部から完全な支持を得ているという認識に基づき、自信を持って人種差別に反対する発言をし、差別が起こったときに対処できる環境を作る。**



反人種差別プログラムの構築は、スタッフや医療スタッフとミーティングを実施し、実体験を理解し、安全への障壁について話し合い、人種差別に反対する組織になるためにできるアクションについて意見を出してもらい働きかけから始まりました。次の段階では、重点的に患者、利用者、地域のパートナーなど、外部へ働きかける予定です。

これらの働きかけから得られた意見は、VCHの包括的な「反人種差別アクションプラン (Anti-Racism Action Plan)」に反映され、人種差別に反対する組織への変遷を後押しします。人種差別がどのように起こり目撃されるのか、人種差別がサービスの提供やヘルスケアの利用に与える影響、それを報告する、または説明責任を取る際の安全性や信頼性の改善方法を理解することが私たちの目的です。今後数年間、こうしたアクションの結果から判明した改善点は公開される予定です。

# プラネタリーヘルス

## ヘルスケアと持続可能性の統合

**プラネタリーヘルスとは、地球と地域社会の健康が相互依存している関係を指します。**

異常気温、山火事、干ばつ、暴風雨、洪水は、すでにVCH管轄全域で人間の健康やケアの提供に悪影響を及ぼしています。気候変動が人間の健康やケアの提供に及ぼす影響は明らかですが、医療制度自体が大きな環境負荷であり、気候変動の一因となっていることも明らかになっています。

気候と医療の接点やその影響に対処するため、VCHはBC州で初めてプラネタリーヘルス（Planetary Health）を戦略計画に組み込んだ医療機関となり、施設や使用物資の管理からケアの提供まで、すべての業務にプラネタリーヘルス原則を組み込むことに取り組んでいます。

このイニシアチブは、意欲的であると同時に、基本的にVCHだけでは達成できないため、現実的で意味のある変化を起こして地域と地球の健康を支援している複数のステークホルダー（利害関係者）やチームを結集している段階です。

この非常に重要な作業は、VCHの戦略・革新事務所と、持続可能な臨床サービス、公衆衛生、エネルギー・環境持続可能性の各チームのスタッフと医療スタッフで構成されるプラネタリーヘルス協同研究グループが主導しています。

- 持続可能な臨床サービスチームは、高品質でカーボンフットプリントの少ないケアの提供、環境への影響を抑えた臨床判断、プロセスの改善が確実に実施されるようにします。

**「環境パフォーマンスアカウンタビリティ報告書」について読む**

- 公衆衛生チームは、地方自治体や地域のパートナーと協力して、気候変動の緩和、緊急事態の計画策定と対応、大気と水質のモニタリングなどを支援しています。公衆衛生チームによる気候変動、騒音や大気汚染、地域設計などによる健康状態の改善に向けた取り組みについては、「**健全な環境と気候変動**」をご覧ください。

エネルギー・環境持続可能性チームは、VCHの全拠点で省エネ、節水、廃棄物・排出物の削減に取り組み、リッチモンド・ホスピタル (Richmond Hospital) 再開発のように持続可能で気候変動に強い施設の開発を支援しています。「**環境に優しく持続可能で気候変動に強いVCH作り**」をご覧ください。VCH業務が地球に与える影響をどのように低減しているのかを理解できます。

**私たちが協力することで、気候の危機に正面から向き合い、人と地球の健康を支える、レジリエントで環境的に持続可能なケアを提供することができます。**





# すべての人のためのケア

VCHは患者、その家族、同僚、そして私たち自身を思いやることが、私たちのケアの中心にあると信じています。

# 若者のための精神病早期支援サービスの拡充



## 精神病 (psychosis) とは？

人の脳に影響を与える、治療可能な病気です。



## 精神病の徴候や症状にはどのようなものがありますか？

精神病を病んでいる人は、一部現実が分からなくなります。つまり、時々、現実のものや頭の中のものとの区別がつかなくなり、認識、思考、信念、行動が変わってしまうのです。

2022年、VCHは早期精神病介入 (Early Psychosis Intervention, EPI) プログラムを拡大して、利用者と家族により身近なケアを提供しました。バンクーバー、リッチモンド、コースタルの各地域で、精神病 (psychosis) の初期症状の見られる13歳～30歳の若者を対象に、EPIの専門サービスの提供を開始しました。

精神病の原因はさまざまで、それぞれ異なる症状が現れます。初期症状のある方は、複数分野対応のチームが提供するVCHの包括サービスとケアを利用できます。より多くの地域に専門のEPIチームを置くことで、患者中心のケアや支援にアクセスしやすくなります。

精神病は早期介入があるとより良い結果が得られる可能性が一段と高くなり、生活の質の向上が期待できます。迅速に助けを得られると、明確な思考能力を取り戻し、目標向かって再び取り組み、発達基準を達成し、社会的孤立、うつ病 (depression)、自分や他人を傷つける潜在的リスクを減らすことができます。



EPIチームは、精神科医、看護師、ソーシャルワーカー、作業療法士、臨床カウンセラー、リハビリテーションスタッフ、ピアサポートワーカー（peer support worker）で編成されています。各チームは協力して、評価、ケアプラン、投薬管理の提供に加え、患者が就学、就職など健康的なライフスタイルを維持するために目標を設定する支援を行います。

EPIプログラムは、個人と家族がケアのパートナーであることを認識し、家族が悩みを共有し、精神病の症状について学び、大切な人をサポートする新しい方法について話し合うための心理教育や安全な空間も提供しています。

2022年に

454



**人がVCHの3つの地域、バンクーバー、リッチモンド、コースタルでEPIサービスを利用しました。**

すべての人のためのケア

# VCHの予防接種キャンペーンによるインパクト

VCHの新型コロナウイルス感染症予防接種は州内で最高接種率を達成



90%

以上のVCH域内住民(全年齢)が2回接種

95%

以上の18歳以上の全成人が2回接種

30%

以上の6か月～4歳までの小児が1回接種

新型コロナウイルス感染症 (CoronaVirus Disease of 2019, COVID-19) 世界的流行の傾向はこの1年で変化しましたが、蔓延を抑制するツールとしてのワクチンの重要性は増す一方です。予防接種は、VCH公衆衛生チーム、そしてVCH全体にとって、引き続き最重要な課題です。

2021年は12歳以上のVCH管轄内の住民にCOVID-19ワクチンの第一回目接種を行うことに重点が置かれていましたが、2022年のキャンペーンはより幅広く、また複雑になりました。COVID-19ワクチンの接種対象を乳幼児に拡大し、12歳以上の方にはブースター接種を実施しました。

また、世界的流行が始まった年に休止していた、学校での定期小児予防接種クリニックを再開しました。児童の大半が、ポリオ (polio)、ジフテリア (diphtheria)、麻疹 (measles)、風疹 (rubella) などの感染症や病気から守る重要な予防接種の遅れを取り戻すことができました。

2022年に最もインパクトのあったのは、エムポックス (サル痘) (monkeypox, mpox) 蔓延を防ぐ予防接種キャンペーンでした。5月中旬、アフリカ特有のウイルスの一種の感染が、カナダを含む、従来は流行していない70か国以上で確認されました。この世界的な発生における感染のパターンは、主にヒトからヒトへの性行為に伴う感染であり、確認されている症例のほとんどが男性と性交渉を持った男性です。

BC州では6月上旬に、VCH管轄地域で初のエムポックスの症例が確認されました。プライドシーズンが間近に迫る中、VCHのエムポックス集団発生対策チームはBC州疾病対策センター (BC Centre of Disease Control)、コミュニテ

ィベースの組織などと緊密に連携し、3か月間にわたり2万本以上のエムポックスワクチンをクリニック、バー、性的接触の起こる場所 (sex-on-premises-venue)、ビーチ、公園、バンクーバーのプライドフェスティバルでリスクのある方々に提供しました。

VCH公衆衛生チームの症例と接触者の追跡調査とともに、感染拡大のリスクが最も高いグループへ早期ワクチン投与により、感染を減らし、重症化を防ぎ、より広い感染リスクを限定することに成功しました。BC州で報告されている症例数は190例 (VCH管轄地域内151例) に留まっており、ウイルスの伝播率水準が低かったことから、2023年1月に地域のエムポックスの終息宣言が出されました。ワクチンシリーズ投与の開始または完了を希望する方、リスクのある該当する個人は、引き続きこのワクチンを接種することができます。最大の保護効果が得られる推奨接種回数は2回です。



すべての人のためのケア

# キャンビー・ガーデンズに新しい支援付き住宅が誕生





George Pearsonセンター (George Pearson Centre, GPC) 再開発プロジェクトには複数の段階がありますが、このプロジェクトは2022年10月に、同センター住人の第一陣が新築のコミュニティベースの支援付き住宅へ入居を開始するという、重要なマイルストーンを迎えました。

GPCは、バンクーバーのオークリッジ (Oakridge) 地区にある長期介護付きホームです。1952年に建設され、現在は、複雑な医学的、身体的症状を持つ100人以上の入居者が暮らしています。GPC再開発では、老朽化した施設に代わり、敷地内で支援が選べる、さまざまな新しい住宅が建設されます。

再開発計画の一環として、住人の一部はGPCから、同地区に新たに開発される、キャンビー・ガーデンズ (Cambie Gardens) のコミュニティベースの支援付き住宅に移る予定です。この住宅モデルは、すべての人を歓迎し、すべての人が利用できる統合コミュニティの一部として、個人が選んだレベルの独立した生活を支援するように設計されています。このケアモデルの一部は、住人や障害者支援団体により設計されており、支援付き住宅の未来を形作るための一助となっています。その結果、GPCの住人は、より広範囲のバンクーバー地域住民とこのアパートを共有することになります。

2022年秋から第一次入居が始まりました。VCHとサービスプロバイダーであるコネクト・パートナーズ (CONNECT Partners) は、2023年もGPCの住人第一陣44人の入居を継続する予定です。残りの住人の入居は2030年頃の竣工まで段階的に行われ、その時点でGPCは永久に閉鎖されます。

新しい住居には、幅広い保健サービスや支援、治療用プール、成人向けデイプログラムが集まるコミュニティヘルスセンターが新たに設置される予定です。

待ちに待った再開発とケアモデルが実現したことは大変喜ばしいことです。これにより、住人とそのご家族に明るい変化をもたらされることを楽しみにしています。

**Bob Chapman**

バンクーバー・コースタル・ヘルス  
バンクーバー地域担当副代表

# 違法薬物の毒性による危機への対応

違法薬物の毒性による危機は、毎月何百人ものブリティッシュコロンビア州住民の悲劇的な死という形で現れています。パンデミックの間、薬物検査サービスは、違法なオピオイド (opioid) や鎮静剤を含むその他の汚染物質からも、強力なオピオイド類似物質であるフェンタニル (fentanyl) の検出量が増え、より毒性の高い違法薬物が出回っていることを指摘していました。

違法薬物の成分は、致命的な過剰摂取の可能性を高めるため、大きな懸念材料です。規制された代替手段がない限り、この公衆衛生上の緊急事態に完全に対処し、命を救うことは困難です。VCHでは、連邦政府や州政府と緊密に連携し、過剰摂取のリスクが高い人向けの代替医薬品の導入に取り組んできました。

代替処方品には、特定の処方箋オピオイド級の、品質が分かっている粉末、錠剤、バイアル、パッチがあり、臨床的に監視される環境で提供されます。その例として、カナダ保健省 (Health Canada) の資金援助を受けて2021年に開始したVCHのパイロットプログラム、「楽しいレク

リエーションのための安全な代用品 (Safer Alternative For Enjoyable Recreation, SAFER)」があります。

**バンクーバーのダウンタウンイーストサイドにあるSAFERは、PHS地域サービス協会 (PHS Community Services Society) とBC薬物使用センター (B.C. Centre on Substance Use) により共同で運営されており、臨床モデルを用いてフェンタニル入り製品を利用者に提供しています。**

医薬品級オピオイドを処方するだけでなく、利用者を地域の治療、ハームリダクション、回復支援へとつなげる橋渡しをします。さらに、北米初の監督消費施設、インサイト (Insite) という代替え医薬品提供プログラムもあります。この施設では、ハームリダクションサービスを求める利用者の一部に処方するフェンタニル製剤の量を増やしています。

SAFERとインサイトの利用者へのケアから得られた知見は、代替え医薬品をより広くコミュニティに提供するためのエビデンスとなります。この取り組みは今も続いていますが、コミュニティヘルスセンターや他のVCH出資拠点など、他の多くのVCH施設でも薬物を使用する利用者に処方箋フェンタニル・パッチを提供しています。このような取り組みにより、利用者が違法薬物に手を出す必要性を減らし、過剰摂取のリスクを低減することができるのです。

こうしたサービスの進歩は、予防、ハームリダクション、治療、回復サービスとともに、VCHの違法薬物の毒性による公衆衛生の緊急事態への対応に不可欠な要素です。これらのサービスを通じて、回復途上にある利用者とは接し、命を守るために不可欠な医療サービスを積極的に利用してもらうことができます。



すべての人のためのケア

# 文化的に安全なケアの共同提供

## 先住民の利用者に卓越したケアを提供するための第一歩は、謙虚さと協力の文化です。

先住民には、医療と癒しの伝統という豊かな歴史と文化があります。VCHはそれを大切に、各ネイションやコミュニティ固有のニーズに応えるために、医療制度に統合する努力をしています。私たちは、先住民のコミュニティやパートナー組織と協力し、より包括的でインパクトのあるケアの構築に貢献できることを嬉しく思います。

名誉なことに、VCHはTla'amin First Nationと覚書 (Memorandum of Understanding, MOU) の締結させていただくことができました。VCH管轄地域内の少なくとも7つのネイションが同様の関心を表明しています。また、ブリティッシュコロンビア州のメイティネイションとの間で基本合意書 (Letter of Understanding, LOU) を締結しました。これは、当地域のメイティ固有の医療サービスを提供するための、重要なマイルストーンです。

VCHのLOUとMOUは、これまでのファーストネイション、メイティ、イヌイトの各コミュニティとのつながりや、和解と先住民の権利を擁護する、VCHのコミットメントの自然な進展を反映するもので、それぞれの地域社会でVCHがヘルスケアを推進するためのアプローチを定義して、基本となる指針を示し、相互の優先順位を明らかにします。これにより、私たちのパートナーシップに一貫性のある、協調的かつ慎重なアプローチを確立します。VCHがサービスを提供するファーストネイション、メイティ、イヌイトのコミュニティとのパートナーシップが進展するにつれ、有意義な協力と意思決定の共有の機会が増え、そのコミュニティの先住民がコミュニティ医療サービスの設計と提供について、より重要な役割を担うことができるようになります。



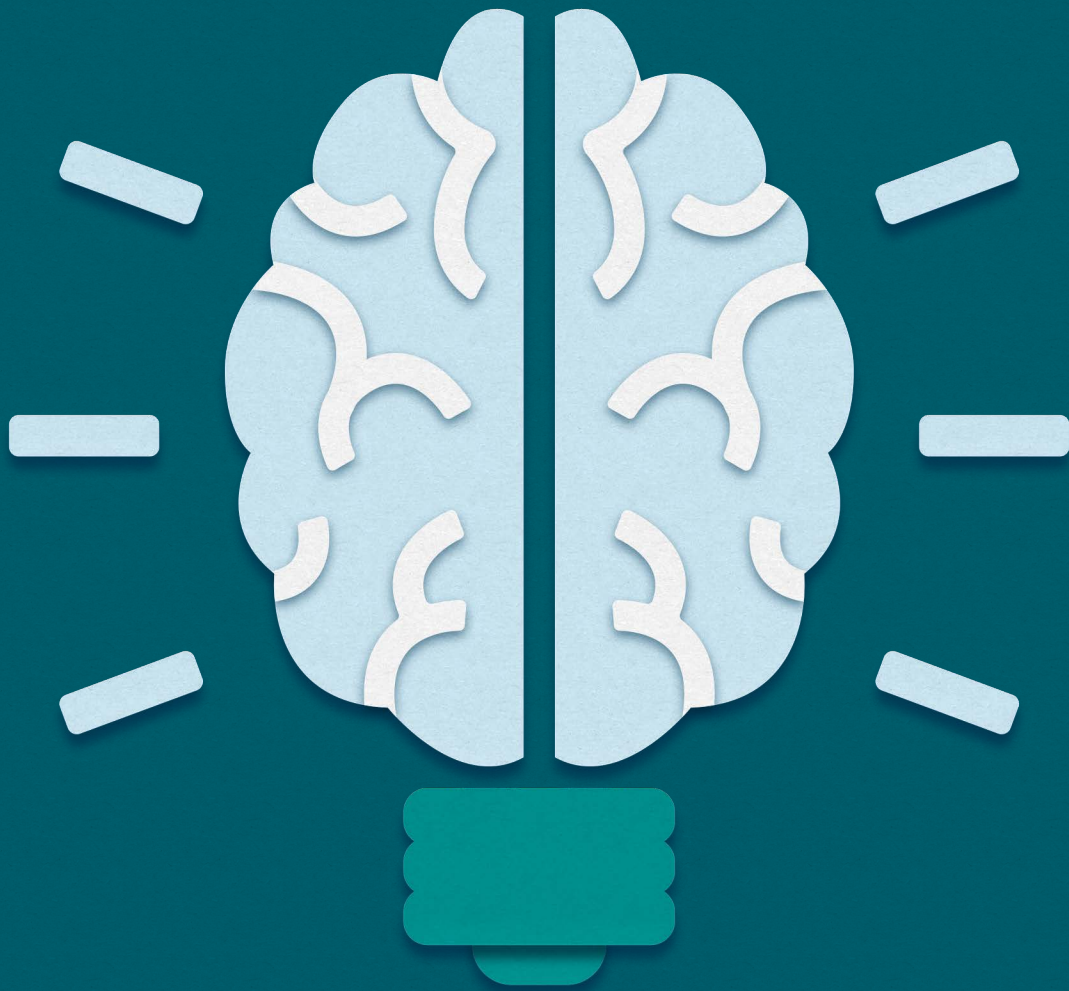
先住民の利用者向けの、文化的に安全なケアの選択肢を増やすために、多様なパートナーネットワークも拡大しています。昨年私たちは、バンクーバーのダウンタウンイーストサイドに住み薬物を使用する妊娠中の先住民族に、人種差別のない、トラウマに配慮した、文化的に安全なケアを提供するために、シーウェイ (Sheway) と提携しました。シーウェイでサービスを利用する人の3分の2以上が先住民であると自認しています。

私たちはシーウェイと協力して、先住民族のアートや文化、先住民に配慮したプログラム作りや、チームメンバーと協力することで、子供や家族が利用できる体験や支援を向上していきます。私たちにとっては、ケアや支援を求める先住民コミュニティのメンバーの全員に、安全で歓迎されていると感じてもらうことが非常に重要です。

私たちは、現在多くの先住民族コミュニティに存在する健康上の不公平に対処するために、ファーストネーションのパートナーから学び続けていきます。VCHのこの取り組みは、先住民族との継続的な和解への道の一部です。

**Vivian Eliopoulos**

バンクーバー・コースタル・ヘルス代表兼CEO

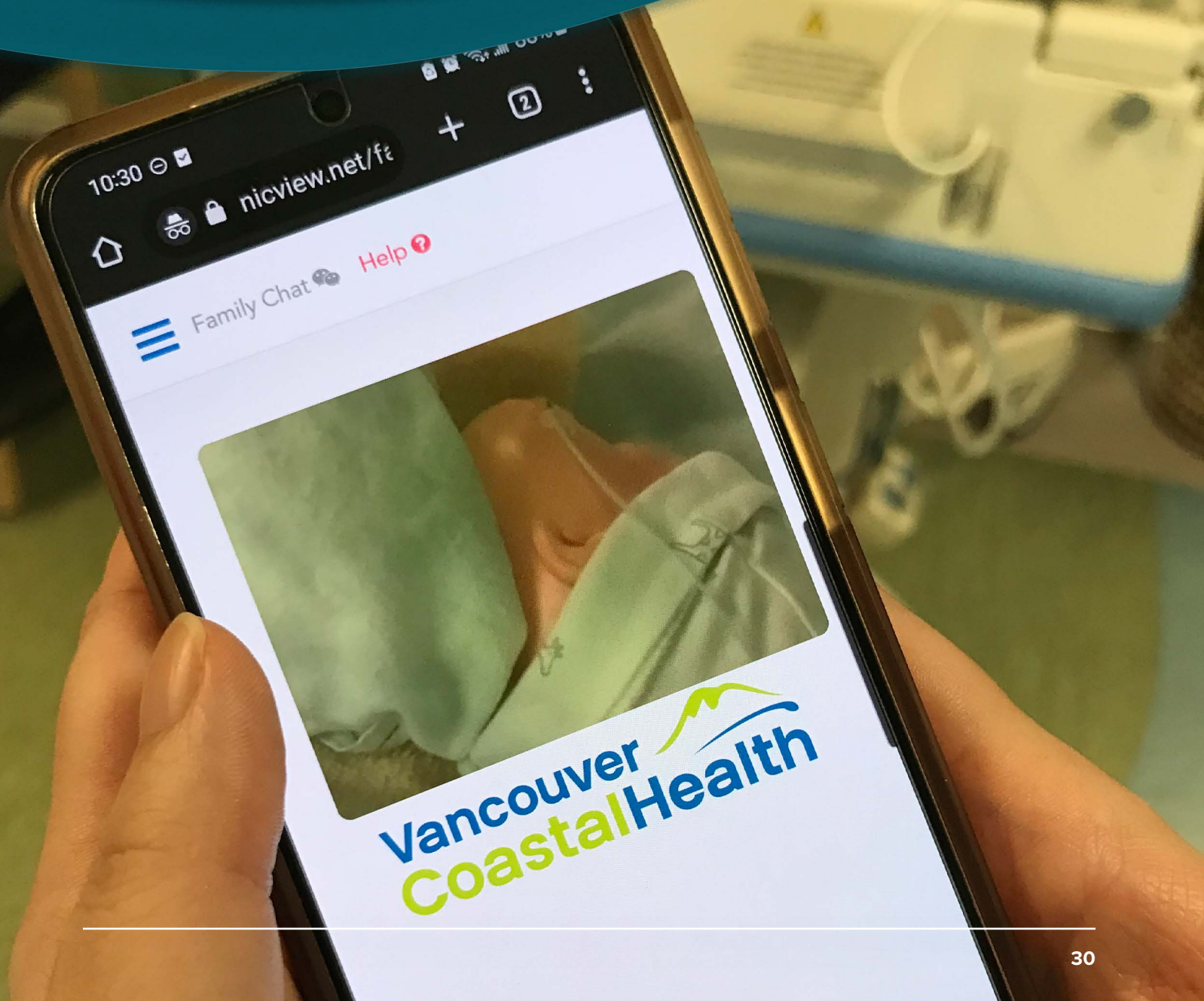


# 常に学ぶ

常に好奇心を持ち続け、革新的なアイデアやヘルスケアを改善する方法を積極的に取り入れていくべきであると思っています。

常に学ぶ

# リッチモンド・ホスピタル、最も小さな患者の両親へ新たなつながりを提供





未熟児や病気の新生児の親は、多くのストレスを抱えています。親が退院した後に乳児が新生児集中治療室 (Neonatal Intensive Care Unit, NICU) に入らなければならない場合は、なおさらです。物理的な距離は、この困難な状況で両親が経験する不安をさらに大きくします。

リッチモンド・ホスピタル (Richmond Hospital) は、未熟児と家族の絆を深めるため、BC州で初の取り組みを発表しました。両親が非公開で安全なライブストリーミングカメラを通じて、年中24時間いつでも、未熟児をモニターして、オンラインの面会ができるようになったのです。同院のNICUでは、パイロットプロジェクトの一環として、2022年6月に初めて乳児のベッドにカメラを設置しました。

このプロジェクト開始後、NICUでは40人の赤ちゃんとその家族をオンラインでつなぎ、コロンビア、フィリピン、アイルランドなど世界各国から2,500回以上のユニークな面会を可能にしました。このテクノロジーを利用した家族へのアンケートでは、回答者の100%が「不安感が軽減され、赤ちゃんとの絆が深まった」と答えています。

家族から好評を受けたこの安全なカメラシステムは、今後も同院のNICUに常設される予定です。リッチモンド・ホスピタルNICUの平均滞在期間が2週間であることから、常に乳児につき添うことができない多くの家族は、このような別の方法で乳児とつながることができます。

リッチモンド・ホスピタルの女性・小児プログラムマネージャー、Jill Schulmeisterは、この取り組みについて、「赤ちゃんを置いて退院することになると思う親はいません。残念ながら、出産後に専門ケアを必要とする赤ちゃんの親御さんたちにとってはこれが現実なのです。離ればなれになっていることが親に与える精神的なダメージを目の当たりにして、NICUチームは、たとえ物理的に一緒にいられないときでも、家族と赤ちゃんのつながりを保つ方法を見つけたいと考えました」と語ります。

“ 親として、付き添っていない間も赤ちゃんたちの様子を確認できたことで、家族がほっとできて、大きな安心となりました。こういう方法が用意されていたことにとっても感謝していますし、未熟児を持つ他の家族も利用できる選択肢になるでしょう ”

**Preethi Krishan**

リッチモンド・ホスピタルのNICUで  
ケアを利用した双子の親

# 患者の障壁を軽減する言語サービス

**ਗੁਰਦਾ ਫੇਲ੍ਹ ਹੋਣ ਦੀਆਂ ਨਿਸ਼ਾਨੀਆਂ**  
Symptoms of Kidney Failure

ਗੁਰਦੇ (ਕਿਡਨੀ) ਦੀ ਬੀਮਾਰੀ ਅਕਸਰ ਪੱਧਰਾਂ ਵਿਚ ਉੱਚ ਚਮੜੀ ਅਤੇ ਨਿਸ਼ਾਨੀਆਂ ਤੋਂ ਬਚਿਤ ਹੋ ਸਕਦੀ ਹੈ। ਗੁਰਦੇ ਦਾ ਕੰਮ ਲਿਆਚਾ ਖਰਾਬ ਹੋਣ ਨਾਲ, ਸਰੀਰ ਦੇ ਕਈ ਸਿਸਟਮਾਂ ਉੱਪਰ ਅਸਰ ਪੈ ਸਕਦਾ ਹੈ ਅਤੇ ਨਿਸ਼ਾਨੀਆਂ ਪੈਦਾ ਹੋ ਸਕਦੀਆਂ ਹਨ।

**ਚਮੜੀ Skin**

- ਖਰਾਬ ਆਉਣੀ

**ਮਿਸ਼ਰ Urinary**

- ਮਿਸ਼ਰ ਘੱਟ ਆਉਣਾ
- ਲਿਆਚ ਵਾਲੀ ਮਿਸ਼ਰ ਆਉਣਾ

**ਪੱਠੇ/ਹੱਡੀਆਂ Muscles/Bones**

- ਕੱਚੇ ਵਿਚ ਖੀੜ ਪੈਣਾ
- ਬੇਅਰਾਮ ਖੀੜ
- ਕਸੜੇਰੀ

**ਖੂਨ ਦਾ ਸਿਸਟਮ Circulatory**

- ਘੱਟ ਊਰਜਾ
- ਪੈਰਾਂ ਅਤੇ ਨਿਨੀਆਂ ਵਿਚ ਸੋਜ

**ਸਾਹ ਦਾ ਸਿਸਟਮ Respiratory**

- ਸਾਹ ਚੜ੍ਹਾਨਾ

**ਹਾਜ਼ਮਾ Digestive**

- ਚਿਤ ਕਰਾ ਹੋਣਾ
- ਉਲਟੀਆਂ ਆਉਣਾ
- ਕੁਖ ਮਰਨਾ
- ਧਾਤ ਵਰਗਾ ਸੁਆਦ

**ਜੇ ਤੁਸੀਂ ਉੱਪਰ ਦੱਸੀਆਂ ਨਿਸ਼ਾਨੀਆਂ ਖੇਮ ਤੋਂ ਆਪਣੀ ਹੇਲਥ ਕੇਅਰ ਟੀਮ ਨਾਲ ਸੰਪਰਕ ਕਰੋ ਜੋ ਤੁਹਾਡੀ ਟੀਮ ਤੁਹਾਡੀਆਂ ਨਿਸ਼ਾਨੀਆਂ ਤੋਂ ਜਾਣੂ ਹੋਵੇ ਪਰ ਨਿਸ਼ਾਨੀਆਂ ਢਾਪ ਰਹੀਆਂ ਹੋਣ ਤੋਂ ਮਦਦ ਲਈ ਉਨ੍ਹਾਂ ਨਾਲ ਸੰਪਰਕ ਕਰੋ।**

**不宁腿综合征**

- 无力

**如果您注意到上述症状, 请联系您的医护团队。如果虽然团队成员知道您的症状, 但这些症状正在恶化, 请联系他们寻求支持。**

言語や文化の壁は、医療を受ける患者にとって障害となることがあります。2022年1月、医療制度を利用する患者の障壁を軽減する目的で、健康情報を翻訳する言語サービスプログラムが発足しました。

このプログラムの開発にあたり、VCHは、ネイバーフッドハウス、サクセス (S.U.C.C.E.S.)、モザイク (MOSAIC)、BC移民サービス協会 (Immigrant Services Society of BC)、州保健サービス局 (Provincial Health Services Authority) のパートナーとともに、VCH管轄全域の翻訳・通訳の慣行を検討しました。その結果、VCH全体の翻訳慣行が標準化され、VCHの通訳・翻訳枠組みが設立されました。

初年度は、救急・初期医療の利用方法、ファミリードクターやナースプラクティショナー (nurse practitioner) の探し方、(高温警報その他の健康注意を含む) 公衆衛生情報、手術前後の情報、高齢者のセルフケアや在宅支援、VCHを初めて利用する患者が利用できるヘルスケアサービスの概要などの資料を翻訳しました。

初期のフィードバックによると、医療機関を受診する際に、より多くの情報を得られた、また、利用できるリソースやケアの選択肢についてより深く理解できるようになったことが指摘されました。翻訳された医療情報は、時間の節約やストレスの軽減だけでなく、患者の体験を向上させることができます。



### VCHの患者/利用者から翻訳要望のあった上位5言語

1. 繁体中国語
2. 簡体中国語
3. パンジャブ語
4. スペイン語
5. ベトナム語

言語サービスチームは初年度に、繁体中国語、簡体中国語、パンジャブ語、スペイン語、ベトナム語、ペルシャ語、アラビア語、韓国語、ロシア語、タガログ語、日本語の主要11言語へ495件以上の情報を翻訳しました。

学び続ける

# 真実と訓練を通じた 和解への取り組み



**私たちは、先住民 (Indigenous) 利用者の方々とのヘルスケアのあらゆる段階での関わり方について、その改善を継続的に続けています。オンラインでの最初のクリックから施設内の医療ケアに至るまで、私たちとの接触の一つ一つが先住民 (Indigenous) 患者さんの体験となるため、意思の疎通と、異文化に対するスタッフの理解と対応能力が重要になります。**

先住民文化安全 (Indigenous Cultural Safety : ICS) チームは、私たちのスタッフ、医療スタッフ、最前線の労働者たちにICS Hummingbird教育プログラムを継続的に提供しています。Hummingbirdプログラムは、オンライン学習4時間と対面式集中トレーニング6時間で構成される4レベルのICSカリキュラムの最初のレベルです。昨年、ICSチームと先住民 (Indigenous) 健康研究チームはVGH救急部門と密接に協力して、Hummingbirdプログラムの実施と成果の評価を行いました。同プログラムは、多数の看護師、登録事務員、関連する医療専門家に提供されました。予備調査の結果では、医療提供者の理解、態度、行動が改善されたことが示されています。

2022年には、Hummingbirdプログラムのオンライン自習モジュールへのアクセスを拡大しました。その結果、5,000人以上のVCH従業員がこのトレーニングを修了し、その数は増え続けています。私たちは、ICSのトレーニングによって医療提供者の文化的能力を高め、先住民 (Indigenous) 患者さんおよびご家族のケアと治療の成果を向上させることができると確信しています。私たちは、先住民 (Indigenous) 患者さんに一体感を感じていただくため、その文化を尊重した表現を使うよう言葉遣いにも気配りしています。用語の世界標準や「先住民 (Indigenous) の権利に関する国連宣言」に従い、英語のAboriginal (アボリジナル) と

いう用語をIndigenous (先住民) に置き換えることもその一環です。先住民 (Indigenous) の文化的安全性の向上は、サービス面だけにとどまりません。先住民 (Indigenous) にとって重要な言葉を認識・尊重し、私たちはTla'amin Nationと密接に協力して、旧Powel River総合病院の名前を改名しました。Tla'amin Nationから「共に働く」という意味の「qathet」という名称をVCHに贈っていただき、2022年7月25日、Powel River総合病院は、qathet 総合病院として生まれ変わりました。

私たちは、植民地化と、それが先住民 (Indigenous) の心身の健康に及ぼす影響について学ぶ機会を提供することに尽力しています。

**ブリタニー・ビンガム**

バンクーバー・コースタル・ヘルス、リサーチ・ディレクター



常に学ぶ

# 利用者の意見は大切です： 医療参加の機会

VCHでは、利用しやすく公平な医療制度を開発する上で、患者や一般人の参加が重要な役割を果たしています。VCHの地域参加チームは、VCH管轄地域全般とケアの全域でVCHと地域の対話を支援、促進します。

地域社会の声と強い結びつきがあれば、VCHの医療プログラム、プロジェクト、支援の改善に役立ち、地域社会のユニークなニーズを反映させることができます。



VCHは2022年に、以下のような数多くのプログラムやサービスで地域社会に働きかけました。

1. **患者とその家族と連携した、三次精神衛生・薬物使用プログラム (Tertiary Mental Health and Substance Use program) の目的・運用の審査。**
2. **George Pearsonセンターの住人や地域のパートナーと協力した、文化的に適切な名称の特定。**
3. **リッチモンド・ホスピタル (Richmond Hospital) とライオンズ・ゲート・ホスピタル (Lions Gate Hospital) の再開発プロジェクトに関する意見提供のための、患者アドバイザーの招待。**
4. **vch.caウェブサイトのデザイン刷新に関する意見の提供。その結果、アクセシビリティが向上し、先住民に関するコンテンツが増えた他、コンテンツが検索しやすく、分かりやすくなりました。**
5. **先住民コミュニティと協力し、複数のアートプロジェクトについて意見を求め、VCHケア施設への先住民芸術・文化の融合に貢献。**

合計45のヘルスケアプロジェクトで地域住民の支援をいただき、デジタル調査、面接、フォーカスグループ、諮問委員募集などを通じて2,000人以上の方からご意見をいただきました。

参加に興味をお持ちの方は、[engage.vch.ca](https://engage.vch.ca)で地域参加の機会の詳細をご覧ください。

**VCHは、翻訳・通訳サービスの告知活動で2つの国際賞を受賞しました。この取り組みは、英語がよく分からないと感じているコミュニティにVCHが健康情報を提供する際の翻訳慣行の標準化につながりました。詳しくは患者の障壁を軽減する言語サービスをご覧ください。**

# 健全な環境と気候変動

健康は、ヘルスケアよりもはるかに多くのものに依存しています。ヘルスケアや生物学を超えた環境・社会的要因が、私たちの健康やウェルビーイングに大きく影響しています。VCHの公衆衛生では、「健康の決定要因」と呼ばれるこうした要因がVCHコミュニティの健康に与える影響を軽減することで、病気の予防に努めています。

2022年には、特に健康の物理的・環境的決定要因に焦点を当てた新しい公衆衛生チーム、健全な環境と気候変動 (Healthy Environments and Climate Change, HECC) チームが結成され、研究、政策提言や審査、教育を通じた気候変動、騒音や大気汚染、地域設計などの要因による健康状態の改善を目指しています。

このチームは医療衛生官、気候変動と衛生のリーダー、環境保健科学者、プランナー、環境衛生官などで構成され、健康と公平性の環境決定要因からの視点を織り込んだ計画、プロジェクト、政策提言で地域、自治体、非政府パートナーと緊密に連携しています。

カナダ保健省による、VCH管轄内における健康の観点から見た気候変動への適応を推進する3年プロジェクト、「**気候変動と衛生適応能力構築プログラム (Climate Change and Health Adaptation Capacity Building Program, HealthADAPT)**」からの勧告の実施支援に重点を置いています。

## 2022年のHECCチーム実績



バンクーバー市、BC州疾病対策センター (BC Centre for Disease Control, BCCDC) と共同で、高温イベント発生時の室内温度調査の実施



バンクーバー市と協力し、空調、空気清浄に関する推奨事項を導入して中・大型の新築住宅からの炭素排出量を削減



猛暑に弱い人のチェックイン計画の指針となる「NGO向け的高温チェックイン支援枠組み (Heat Check-in Support Framework for NGO)」の作成



VCHを通じた、将来の高温、煙、気象現象に備えた季節準備計画でチームやプログラムの支援



VCH管轄全域の大気質監視プロジェクトの主導または協力

### 寄稿

- トランスリンク (TransLink) の地域交通計画「輸送2050 (Transport 2050)」
- メトロバンクーバーの「地域成長戦略 (Regional Growth Strategy) (2050)」
- メトロバンクーバーの「大気浄化計画 (Clean Air Plan)」
- メトロバンクーバーの「気候2050 (Climate 2050)」

### 提言提供

- バンクーバー市の「気候緊急行動計画 (Climate Emergency Action Plan)」
- バンクーバー市の「気候緊急駐車料金プログラム (Climate Emergency Parking Program)」
- メトロバンクーバーの「道路以外におけるディーゼルエンジン排出規制 (Metro Vancouver Non-Road Diesel Engine Emission Regulation)」の拡大案

### フィードバック提供

- 州の「気候への対応と適応戦略 (Climate Preparedness and Adaptation Strategy)」
- ノースウエストポーツ大気浄化戦略 (Northwest Ports Clean Air Strategy)



# より良い結果を 出す努力

VCHは、ヘルスケアのすべての機能において、より良い結果を出すことが、患者の健康状態を改善し、ヘルスケアを向上させると信じています。

より良い結果を出す努力

# 環境に優しく持続可能で気候変動に強いVCH作り

医療制度が気候変動に大きく関わっていることをご存知ですか。私たちのケア活動は、カナダの温室効果ガス排出量の5%を占めており、これは航空業界の排出量に匹敵します。

ヘルスケアの脱炭素化は、飛行機の廃止に相当します

**Dr. Andrea MacNeill**

VCHプラネタリーヘルス地域医療担当ディレクター  
(Regional Medical Director of Planetary Health)

VCHは、通勤に公共交通機関や自転車を利用するなどの個人的な行動から、組織としてVCH施設全体でエネルギー使用量や温室効果ガス排出量を削減する、サプライチェーンへ再利用可能な製品を導入するなど、私たちの業務が地球に与える影響を減らすためにリーダーシップを発揮する機会に弾みを付けようとしています。

プラネタリーヘルスへの対応として、VCHは環境に優しい持続可能性と気候変動に対するレジリエンスという2つの主要な目標を掲げています。これらの目標へ向けて取り組むことが、VCHがサービスを提供する幅広い地域の健康とウェルビーイング、そして地球全体の改善につながります。

そのための取り組みについてはこちらをご覧ください。



## 特集記事1:

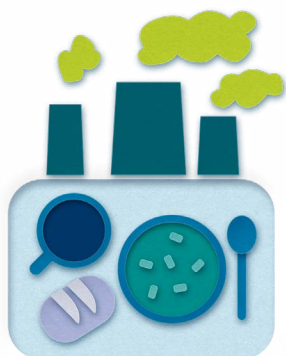
# 患者ケアとプラネタリーヘルスの向上を目指す食品システムの変革

カナダでは、食品関連の排出量が医療機関の排出量の約10%を占め、入院患者の食品の約50%が廃棄されています。

患者ケアとプラネタリーヘルスを改善する食品システムへの変革を始めるために、VCHは患者の満足度、栄養状態、臨床結果、治療介入としての食品の使用とともに、食品関連の排出量と廃棄量を調査しています。

入院患者に出される食品の半分近くが廃棄され、埋立地に埋められ、無駄にお金が使われています。Eileen Wong医師は、これについて、長期介護施設利用者の視点から見てみたいと考えました。その結果、食品廃棄の多くは、利用者が食べ物の味や温度、食感が気に入らなかったためであることが判明しました。また、食事の間隔が狭すぎるため、次の食事までに利用者が十分な空腹感を感じていなかったのです。Eileenはこうした問題に取り組むため、自身のチームと一緒に、必要なカロリーは維持しつつも量を減らすなど、一部簡単な変更を行いました。その結果、参加した利用者から出る食品ロスは半減しました。

食は薬であるとする考え方は、良い栄養素が私たちの健康一般を守ってくれるという認識からきています。ブリティッシュコロンビア大学一般外科研修医4年目のAnnie Lalande医師は、バンクーバー・ジェネラル・ホスピタルのチームと共同で、食べ物を治療的な介入として利用する方法を研究しています。このチームは、栄養補給と治療となる新しいメニューの開発や、学んだ教訓を他の医療施設と共有する方法について検討しています。この研究の次の段階として、VCHはオーシャンワイズ (Ocean Wise) の元料理長、Ned Bellと提携して、入院患者向けに人間と環境の両方の健康に最適なプラネタリーヘルス食を考案しています。



# 10%

のヘルスケア関連  
排出量が食品関連



# 50%

の入院食が廃棄  
処分



## 特集記事2:

# リッチモンド・ホスピタルの再開発にプラネタリー・ヘルス原則を統合

リッチモンド・ホスピタル (Richmond Hospital) 再開発チームは、Yurkovich Familyパビリオンの第2期工事に向けて、プラネタリーヘルスの原則を建物のいたる所に組み込んでいます。ここでは気候に良い影響を与えることを目指して計画している分野を紹介します。

## 持続可能で気候変動に強い建物

- エネルギーと環境に配慮したデザインにおけるリーダーシップ (Leadership in Energy and Environmental Design, LEED) で耐震、洪水ラインより高い立地でゴールド認証を目指す
- 低炭素設計 (一般的な新病院と比較して排出量を87%の削減)
- エネルギー効率の高い電化設計 (100%低炭素電力、100%カーボンニュートラル)

## グリーン重視の臨床空間

- オンライン/電話による診療方法の設置
- 循環型経済/再利用第一原則

## アクティブでクリーンな交通手段

- 容易な公共交通機関への接続
- 自転車置き場、シャワー設備
- カーシェア駐車場と電気自動車用充電ステーション (リッチモンド・ホスピタルは立体駐車場に30基の充電ステーションを備えたブリティッシュコロニア州最大の電気自動車 (Electric Vehicle, EV) 充電設備を保有)





### 特集記事3:

## ギブソンの看護師 環境に配慮した介護を推進

ギブソンズ衛生ユニット (Gibsons Health Unit) の公衆衛生看護師、Emily Doyleは、過去12年間、地元であらゆる年齢や経歴の人々に健康について話してきました。患者や利用者との会話で、気候変動や持続可能性が話題に上ることが多くなってきました。

地球温暖化、公害の悪化、パンデミック、異常気象などを目の当たりにし、また母親になったこともあり、Emilyは職場で率先して変化を起こそうと決心しました。

気候変動による天候の影響に適応できるような家庭支援から、職場で持続可能な慣行の導入まで、Emilyは紙の印刷物から電子リソースへの切り替え、ワクチン包装のリサイクル、相乗り・徒歩・自転車通勤の促進などを行ってきました。

持続可能性への情熱にかき立てられたEmilyは、BC州公衆衛生協会の2022年会議「私たち

の地球、私たちの健康：幸福な社会の創造と自然との調和 (Our Planet, Our Health: Creating Well-Being Societies and Making Peace with Nature)」に参加しました。

会議の中で行われた、先住民族の知識の重要性と公衆衛生の慣行に環境社会的なアプローチを統合する必要性に関するセッションで、Emilyは「地球との関わり方に関して、先住民族から学ぶべきことがたくさんある」と共鳴しました。

Emilyの情熱と支持の結果、地球の健康を最優先に考え、持続可能な未来に向けた行動をとる最前線のスタッフを支援するために、気候変動と持続可能性は、サンシャインコースト (Sunshine Coast) の公衆衛生看護のミーティングで常設の議題となっています。

より良い結果を出す努力

# より身近なケアを向上させるための病院変革

バンクーバー・コースタル・ヘルスは、管轄全域で、多大な投資を行ってヘルスケアインフラを改善、拡大、拡充しています。身近な患者、利用者、住民に、質の高いケアを提供するために、長

期介護付き施設の新設・改善、病院の近代化など、数多くの開発プロジェクトが進行しています。



## リッチモンド・ホスピタル 再開発プロジェクト - Yurkovich Familyパビリオン

リッチモンド・ホスピタル (Richmond Hospital) は、Yurkovich Familyパビリオン (Yurkovich Family Pavilion) と名付けられた患者ケアタワーを増設し、規模を拡大しています。この9階建てのタワーには、拡充された救急外来、追加の手術室と手術前後の看護スペースが建設される予定です。その他、集中治療室、4台のコンピュータ断層撮影 (Computerized Tomography, CT) スキャナーと2台の磁気共鳴画像法 (Magnetic Resonance Imaging, MRI) 装置を備えた画像診断科、薬局、短期滞在型の小児科も設置されます。

このプロジェクトで新たに113床が追加され、病床数が合計で353床になります。改装後、南タワーは精神科の入院病棟と救急病棟に、Milan Ilichパビリオンはがん医療クリニックになります。



## ライオンズ・ゲート・ホスピタル再開発 プロジェクト - Paul Myersタワー

ライオンズ・ゲート・ホスピタルのPaul Myersタワー（Paul Myers Tower）は、6階建ての最新施設で、コースタル地域の急性期医療サービスの拠点となります。このハイテク施設には、大部屋8室と検査前後の待機場所39床分を備えた周術期看護ユニット（Perioperative Care Unit）と、医療機器の再生処理部門（Medical Device Reprocessing department）が設置されます。全診療科と全室に患者の体験を向上させ、患者とスタッフの安全を支える最新の機器と技術が導入されます。

病床数も108床に増え、屋上には屋外の緑のスペースやグループエクササイズエリアなども作られ、癒しとウェルネスを促進します。また、ツー・シスターズ・ガーデン

（Two Sisters Garden）には、セレモニーや小さな集まり、瞑想のための専用スペースが設けられる予定です。

より良い結果を出す努力

# 股・関節手術の待ち時間を短縮する新プログラム

VCHの地域外科プログラム (Regional Surgery Program) が開発した「股関節・膝関節を少しでも速く (Hip and Knee ASAP)」という新しいプログラムは、股関節や膝関節の手術が必要ない人、または準備ができていない人を代替ケアに誘導して、手術が必要な人の待ち時間を短縮することを目指しています。

股関節や膝関節の手術が必要な可能性がある人と診断された人の全員が、手術の準備ができている、あるいは実際に手術を必要としているわけではありません。

**先端理学療法士 (Advanced Practice Physiotherapist, APP) のスキルと経験を活用した新しいワークフローを構築することで、手術のトリアージアセスメントを迅速化し、最も必要性が高く準備ができている人を手術相談の順番待ちに移動させるプログラムです。**

変形性股関節症や変形性膝関節症を対象としたこのモデルは、BC州では新しいものですが、オンタリオ州と英国では確立されています。

理学療法士が手術の手順をよく理解できるように、外科医が手術室内の様子を含む手術の準備について、12週間の指導を行いました。これまで外科医の受診に3~8か月待たなければならなかったのが、このプログラムに参加した患者は1か月以内にAPPの診察を受けることができるようになりました。また、APPは手術に関心がなかったり、それ程痛みがひどくない人にも選択肢や情報を提供します。

手術の候補者は、手術相談の前に有益な情報を得られるため、自分にとって手術が最適な選択肢なのかどうかを判断することができます。その結果、外科医たちは、この相談のお陰で理解ができている、また、手術同意書に署名するのに十分な情報を得たと感じている人が増えていると手応えを感じています。すでに参加者の生活の質が向上したことが確認されています。

より良い結果を出す努力

# 待ち時間をなくす：ライオンズ・ゲート・ホスピタルのPUSHデー

主任看護師のSherry Barbosaが他の患者の待ち時間を短縮する画期的な方法を思いつく発端となったのは、慢性的な肩こりに悩まされた自らの経験でした。

ライオンズ・ゲート・ホスピタル (Lions Gate Hospital) では、COVID-19が大流行するかなり前から、疼痛管理の注射の依頼がさばけずに溜まっていました。治療を行うチームや医師を観察するうちに、簡単なニーズの患者を同時に特定することで、プロセスを大幅に効率化できることに気づいたのでした。

Sherryは、注射の準備や患者の動線を考えたシステムを開発し、画像診断科のスタッフと医師に提案しました。チームは試験的に、週に1日を、片側の上半肢と下半肢の疼痛管理に問題がある患者に絞ることにしました。より多くの患者を安全かつ効率的に治療することをプッシュをしていたため、Sherryはこの日を「プッシュ (PUSH) デー」と呼ぶことにしました。

朝のミーティング時に、各人に具体的な役割分担をし、明確な計画を用いることで、通常の3倍

通常、チームは1日に11~16人の

38

2021年9月16日のプッシュデー初日に治療した患者数



最大 72

プッシュデー開始3か月後に1日のプッシュデーで治療を受けた患者数

以上の患者を診ることができるようになりました。

プッシュデーの目標は、1年以上あった待ち時間を2か月に短縮することでしたが、チームは、1回のプッシュデーに20人前後の患者を診療することで、待ち時間をなくすことができたと自負しています。

より良い結果を出す努力

# 患者情報へのシームレスなアクセスが患者ケアを向上





2022年11月、バンクーバー・ジェネラル・ホスピタル (Vancouver General Hospital, VGH) と、Joseph and Rosalie Segal and Familyヘルス・センター、Willowパビリオン、50以上の優先クリニックを含むキャンパスで、CST Cernerという新しい電子カルテシステムへの移行が行われました。

#### 臨床・システムトランスフォーメーション

(Clinical and Systems Transformation, CST) は、VCHとそのパートナー組織であるプロビデンス・ヘルス・ケアと州保健サービス局で、ほとんどが紙であったカルテを一元化された電子カルテシステムに移行して、患者ケアの安全、質、一貫性を改善することを目的とした複数年プロジェクトです。このプロジェクトは、BC州史上最大規模の医療プロジェクトであり、施設や組織を越えて電子化された患者のカルテにすぐにアクセスし、より効率的に医療が提供できるようになります。

VGHでCSTに移行するためのトレーニングや準備には、綿密な準備と計画を要しました。

**1万人以上のスタッフと医療スタッフがオンラインおよび対面でのトレーニングを受け、数百台の新しい車輪付きのポータブルワークステーションとそれをサポートする技術機器が投入され、電子化の開始に備えて数千の患者カルテが移行されました。**

VGHでの導入は、BC州はもとより、北米におけるCST Cernerの使用の中でも最大規模のものです。患者には、薬の安全性の向上、統合的なアプローチによる一貫性のある治療、結果や薬物療法への迅速なアクセス、診察時に同じことを繰り返し伝えたり重複する検査が省けることによる時間短縮などのメリットがあります。

VGHは、ライオンズ・ゲート・ホスピタル、スクーミッシュ・ジェネラル・ホスピタル (Squamish General Hospital)、ウィスラー・ヘルス・ケア・センター (Whistler Health Care Centre)、ペンバートン・ヘルス (Pemberton Health)、シーシェルト・ホスピタル (Sechelt Hospital)、トーテム・ロッジ (Totem Lodge)、ショーンクリフ・インターミディエート・ケア・ホーム (Shorncliffe Intermediate Care Home)、スマック・プレイス (Sumac Place) など、すでにCST Cernerに移行しているVCH施設の仲間入りをしました。

より良い結果を出す努力

# バンクーバー・ジェネラル・ホスピタルの献血の安全管理





2022年8月、バンクーバー・ジェネラル・ホスピタル (Vancouver General Hospital, VGH) はVCH初の「賢明な血液使用 (Using Blood Wisely)」施設となりました。今回の指定により、VGHは、「カナダ賢明な選択 (Choosing Wisely Canada)」とカナダ血液サービス (Canadian Blood Services) によって、責任ある赤血球管理への取り組みと継続的な品質向上の追求が認められた、カナダのエリート病院の1つとなりました。

「賢明な血液使用」指定を受けたことは、VGHの輸血医療チームの取り組みが実ったことを証明するものです。この5年間、チームは赤血球輸血プログラムの改善に取り組み、患者の安全を高めると同時に、非常に需要の多い貴重な献血を責任を持って管理することに専念してきました。

「賢明な血液使用」指定プロセスの一環として、輸血医療チームは、このイニシアチブの有効性を全国のベンチマークと比較して測定しました。その結果、VGHの赤血球輸血プログラムは、これらと同等であるだけでなく、しばしばそれを上回っていることがわかりました。

このプログラムの快挙は、チームワークの賜物です。ヘルスケアスタッフと医療スタッフが、最新のワークフローと慣行を取り入れることで重要な役割を果たしたのです。VGHの「賢明な血液使用」指定は、患者の安全と赤血球輸血の適切な使用の両方に対する努力を象徴するものです。

VGHの赤血球輸血プログラムモデルは、現在、VCHの他の病院にも広がっています。

この指定は、私たちがデザイン・実装した輸血の品質向上の取り組みの有効性を証明するものです。病院として、適切で責任ある輸血慣行に取り組んでいるという自信を与えてくれます

**Dr. Krista Marcon**

血液病理学者、VGHの「賢明な血液使用」のチャンピオン医師

より良い結果を出す努力

# ヘルスケアの環境インパクトに対する解決策の模索

ヘルスケアは、カナダの温室効果ガス総排出量のほぼ5%を排出しています。ブリティッシュコロンビア州最大の医療機関の1つとして、VCHが環境に与える影響は大きいことを認識しています。VCHは、環境へのインパクトを低減し、医療制度と地球の健康を回復させるために全力で取り組んで参ります。

私たちの今後の活動は、BC州保健省の命令書 (Mandate Letter) とクリーンBCロードマップ 2030 (CleanBC Roadmap 2030) に沿った、目的を持つものです。環境の持続可能性と気候変動に対するレジリエンスを高めるのに役立つ、有意義な対策と革新的なアイデアを特定していくには、全チームの総力を結集し、パートナーとの協力が必要です。

## 2022年のハイライト/実績

- リッチモンド・ホスピタル再開発プロジェクト (Richmond Hospital Redevelopment Project) を含む主要な資本プロジェクトに気候リスクとレジリエンスを組み込んだ。
- VGH手術室のリニューアル (VGH Operating Room Renewal) を設計し、1,411トンのCO2e排出量削減を可能にした。
- ナリッシュ・アンカー・コーホート (Nourish Anchor Cohort) に参加し、スタッフや入院患者の食事に伝統的な食べ物を含む、持続可能な食べ物を出す機会を増やした。
- 非急性期医療 (長期介護付きホーム) 現場の廃棄物転換率を36%から42%に増やした。急性期医療 (病院) 現場での全体的な廃棄物発生量を約13%削減した。

環境負荷低減の取り組みの詳細は[グリーンケア \(GreenCare\)](#)をご覧ください。

私たちの活動は、以下の分野で持続可能性を推進することに重点を置いていきます。



### 気候変動

目的のある、持続可能な施設設計と運営で、気候変動に強い医療制度へ移行する。



### エネルギーとカーボン

エネルギー効率を高め、化石燃料への依存を減らして、二酸化炭素排出量を低減する。



### 食品

薬としての食品を促進するために、植物由来、地産、文化的に関連があり、公平な給養管理方法を開発する。



### 資材

廃棄物や不要な化学物質を避けながら、人と環境の健康に貢献する持続可能な材料や製品を選ぶ。



### 水

水の使用量を最小限に抑え、天然資源の需要や生活環境への影響を低減する。



### 交通手段

環境への悪影響を減らし、人間の健康と福祉に役立つ代替交通手段へのアクセスとその利用を増やす。

# 財団

病院財団へご寄付をいただくことで、VCHの重要な活動に貢献して、永続的な影響を与えることができます。寄付金は、専門機器の購入、医学研究の支援、患者ケアの向上のために使われます。どのような寄付も、患者やその家族、そして地域社会の生活に変化をもたらすことができます。

病院財団がどのように医療を変革しているかについては、[vch.ca/donate](http://vch.ca/donate)をご覧ください



このQRコードをスキャンして、この翻訳の品質について、ご意見をお聞かせください。